

美波町立病院建設検討委員会

(中間報告)

～美波町立病院整備方針について～

平成24年11月

はじめに

美波町の病院事業は、施設の老朽化や、医師不足などによる病床利用率の低下に伴う経営の悪化により、新たな施設の建設並びに住民が安心して医療サービスを受けられる新たな医療提供体制と医療と保健福祉サービスを一体的かつ総合的に提供できる地域包括ケアシステムの構築が求められていた。

このような状況を踏まえ、美波町においては平成22年11月に美波町病院事業のあり方検討委員会を設置し、今後の病院事業のあり方等について検討・協議を重ね平成23年12月には「日和佐・由岐病院の存続については、町財政に大きな影響を及ぼすだけでなく、長期的な医療提供を困難にするとともに、行政サービス全体の低下を招く恐れがあるため、2病院は統合・再編し、1病院1診療所とし、病院の病床数は50床程度とし、診療所は無床が望ましく、災害に強い安全な場所で、医師確保や療養環境及び様々な医療サービスなどを行うことを目的として整備する。」とした答申がなされた。

この答申を受け、町では平成24年1月に医療体制整備方針（素案）を策定し、10回にも及ぶ住民説明会やパブリックコメントを経て最終案を策定し、平成24年6月には正式に「美波町医療体制整備方針」が美波町議会において議決承認された。この方針では、答申を踏まえ、病院の建設位置は災害に強い安全な場所として、美波町田井（由岐IC付近の民有地）とし、病床数は50床規模程度（一般病床）、延べ床面積は約3,500㎡、主な機能は外来、入院、救急告示病院、訪問診療、訪問看護とされた。また、保健センター（仮称）の建設位置は日和佐高校跡地とし、診療所の病床数は無床とし、延べ床面積は約1,200㎡、主な機能は外来、訪問診療、訪問看護、保健センター、リハビリテーションなどとされた。

このような経緯のもと、美波町医療体制整備方針に基づき、美波町立病院並びに美波町立保健センター（仮称）の建設を行うにあたり、幅広く町民及び医療関係者の意見や考え方を反映させるため、平成24年9月に美波町立病院建設検討委員会が設置された。当委員会では、有識者や医療関係者の委員による医療の専門的な見地からにとどまらず、行政や議会、住民の代表委員による地域からの視点も踏まえ、様々な立場の委員により幅広い観点から慎重に検討を重ね、美波町立病院整備方針についてその検討結果を中間報告書として取りまとめた。なお、新病院の収支試算については継続審議とし最終報告で行うものとする。

美波町においては、今後美波町立病院の建設を進めるにあたっては、この中間報告書の内容を十分に尊重し、幅広い町民の理解を得つつ、着実に行われることを期待するものである。

平成24年11月

美波町立病院建設検討委員会

委員長 坂 東 弘 康

美波町立病院建設検討委員会委員名簿

委員長	坂東 弘康	徳島県立海部病院院長
副委員長	山路 和秀	美波町副町長
委員	嶋津 伸一	国土交通省四国地方整備局営繕調査官
委員	小坂 恵美	住民代表（公募）
委員	延原 敏雄	住民代表（美波町町内会連合会会長）
委員	大石満喜子	住民代表（美波町民生児童委員協議会会長）
委員	照本喜三子	住民代表（美波町婦人会副会長）
委員	橋本 博夫	住民代表（美波町老人クラブ連合会会長）
委員	北村 禎章	住民代表（美波町PTA連合会会長）
委員	坂口 進	議会代表（美波町議会議長）
委員	江本 昇	議会代表（美波町議会病院事業特別委員会委員長）
委員	川井 尚臣	日和佐病院院長
委員	本田 壮一	由岐病院院長
委員	濱 浩治	美波町由岐支所長
委員	花木美名子	美波町保健福祉課長

委員会の開催

第1回美波町病院建設検討委員会

日時 平成24年9月12日（水）17：00～

場所 美波町役場本庁舎 2階 会議室

第2回美波町病院建設検討委員会

日時 平成24年10月24日（水）18：00～

場所 美波町役場本庁舎 2階 会議室

第3回美波町病院建設検討委員会

日時 平成24年11月14日（水）17：00～

場所 美波町役場本庁舎 2階 会議室